

## — 特 許 記 事 —

最近の製鉄鋼業界における発明

- | 公告番号      | 発明の名称  | (発明者) 出願人                              |
|-----------|--|--|
|           | 特許出願公告 (昭和 32—8—15)  |  |
| 昭 32—6252 | 熔鉱炉内溶銑成分の迅速調整法<br>炉況をなるべく一定の状態においたまま熔鉱炉の操業を続けつつ通常羽口を通じて粉状あるいは粒状の Fe-Si, Fe-Mn, Fe-P 等の合金鉄を熔鉱炉炉床部に圧縮空気を利用して吹込み 炉内の溶銑成分を迅速に調整する方法。   | (児玉惟孝外1) 八幡製鉄 K.K.                     |
|           | 特許出願公告 (昭和 32—8—26)  |  |
| 昭 32—6701 | 低豎炉における鉱石製錬方法<br>ドクター・シー・オットー・アンドカンパニー・ゲゼルシャフト・ミット・ベシエレンクテル・ハフツング外1 (独)  | (ウエルネル・ウエンツェル外1) (独)                   |
|           | (略)  |  |
| 昭 32—6702 | 鑄鉄の脱珪素および脱硫法<br>ソシエテ・デレクトロシミ・デレクトロメタルジ・エ・デ・アシエレ  | (レン・ペーリー) (仏)                          |
|           | (略)  |  |
| 昭 32—6703 | 製鋼用熔銑による鑄造法<br>製鋼用熔銑を珪素分が 1.0~1.8% となるよう調整し、アルカリ金属もしくはそれらの化合物を添加して脱酸、脱硫をおこなうと共に熔銑の温度を上げそのキツシユグラフアイトを除去し成分の鎮静、均一を図つた後鑄造する方法。  | (坂本光彦外1) 日本鋼管 K.K.                     |
| 昭 32—6704 | 高炭素低珪素スピーゲルと低鉄低燐マンガン鉱との同時製造法<br>含鉄マンガン鉱もしくはマンガン鉱と鉄鉱石との配合物に還元用炭材を配合し熔融物の CaO/SiO <sub>2</sub> を 0.7~0.2 として部分還元をおこなう方法。   | (富岡重憲) 同人                              |
|           | 特許出願公告 (昭和 32—8—29)  |  |
| 昭 32—6853 | 砂鉄等の酸化鉄を還元熔解する方法<br>主として電気抵抗熱にて還元熔解し、温度調整に弧光熱を用いる方法。   | (伊藤総一) 上田英一                            |
| 昭 32—6854 | 鉄粉の製造方法<br>(略)   | (山崎寛三) 山形 章                            |
| 昭 32—6855 | 鉄粉の製造方法<br>(略)   |  |
| 昭 32—6856 | 鉄粉の製造方法<br>(略)   |  |
| 昭 32—6857 | 含油高燐鑄鉄機械部品<br>燐を 0.5~1.5% 程度を有する高燐鑄鉄を A <sub>1</sub> 変態点を上下して加熱冷却して生長処理をおこなつてきた多孔質体を所要寸法に加工して含有処理したもの。   | (川崎宗造) 同人                              |
|           | 特許出願公告 (昭和 32—9—3)   |  |
| 昭 32—7051 | 耐磨耗性特殊鑄鋼<br>炭素 0.40~0.65%, 珪素 0.3~0.7%, マンガン 3.0~5.0% を基本組成成分としこれにクロム 1.0~2.5%, チタニウム 0.10~0.30%, 銅 0.8~1.5%, ニッケル 0.8~1.2% の範囲において1種または1種以上を含有せしめ残部を鉄およびその他の不純物としたもの。                         | (林田三郎) 同人                              |
| 昭 32—7052 | 時効硬化しうるオーステナイト不銹鋼<br>ユナイテッド・ステイツ・スチール・コーポレーション (米)   | (エドワード・ジョン・ダリス)                        |
|           | 炭素 0.03~0.3%, 窒素 0.10~0.60%, ニッケル 0~10%, マンガン 5~20%, クロム 12~20%, バナジウム 0.5~2.0%, モリブデン 1~5%, ボロン 0~0.10%, および普通不純物を除き残部鉄よりなり、時効効果ができ 100 時間のクリープ破壊強度が 1300°F で少なくとも 31000 psi を有する安定なオーステナイト鋼。 |  |
|           | 特許出願公告 (昭和 32—9—9)   |  |
| 昭 32—7305 | 鉄鉄の精錬法 (ドナルド・クリーヴ・ヒルティアー) ユニオン・カーバイド・コーポレーション(米)<br>熔融状態の鉄鉄を個々に細分した小滴を垂直通路に落下させ、その方向または反対方向に酸化ガスを流して該小滴に当て集める方法。   |  |
| 昭 32—7303 | 鋼塊製造における特殊注入法<br>地上注入と台車注入とを問わず、鑄型そのものを下注法における注入管の代りとして利用し、下注鋼塊と上注鋼塊とを同時に製造する方法。   | (甲斐幹外1) 八幡製鉄 K.K.<br>(以下 1275 ページへつゞく) |